

第5回 府中市男女共同参画推進協議会 議事録

- 日 時 令和元年8月19日（月）午前10時から正午まで
- 会 場 府中市役所北庁舎3階 会議室
- 出席者 (委員)
諸橋会長、内海副会長、安藤委員、糸井委員、今喜寿委員、
田中委員、徳原委員、内藤委員、堀井委員、松本委員
(事務局)
田代地域コミュニティ課長、三浦地域コミュニティ課長補佐、
新妻男女共同参画推進係長、高畑主任
(文化科学研究所)
瀬戸、池田
- 欠席者 赤羽委員、向井委員
- 傍聴者 なし
- 議 事 審議事項
1 第6次府中市男女共同参画計画について
2 その他
- 資 料 1 第6次府中市男女共同参画計画目標Ⅳの課題・施策（案）
2－1 第6次府中市男女共同参画計画目標Ⅰの課題・施策（修正案）
2－2 第6次府中市男女共同参画計画目標Ⅱの課題・施策（修正案）
2－3 第6次府中市男女共同参画計画目標Ⅲの課題・施策（修正案）

開会

【会長】

定刻になりましたので、第5回府中市男女共同参画推進協議会を開会いたします。まず、事務局から本日の委員の出席状況について、報告をお願いします。

【事務局】

本日の出席状況でございますが、赤羽委員、向井委員2名の委員からご欠席のご連絡をいただいております。現在、定数12名中10人の委員の皆様にご出席をいただいておりますので、本協議会は有効に成立していることをご報告いたします。

続きまして、本日の傍聴ですが、申込みはございませんでした。

次に資料の確認をさせていただきます。

(配布資料の確認)

資料は以上でございますが、不足等はございませんでしょうか。

本日は、第6次府中市男女共同参画計画の目標Ⅳを終え、目標Ⅰ～Ⅲの各事業項目について、事業の必要性などを再度ご検討いただくことが目標です。事務局からは以上でございます。諸橋会長、よろしくお願いいたします。

【会長】

まず、前回の議事録の確認をしたいと思います。何かありますか。

【委員】

2ページの1行目に「第3回」とありますが、「第4回」です。

【会長】

ありがとうございます。他にありますか。

【委員】

前回、子ども会のお話をさせていただいたのですが、8ページの真ん中あたりの委員の3行目に、「対象は1年生から3年生」とありますが、「1年生から6年生」を対象にしておりましたので、修正をお願いします。

【会長】

他になれば、事務局は公開の手続きをお願いします。

それでは次第に沿って議事を進めます。次第の1審議事項「第6次府中市男女共同参画計画について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

はじめに、資料1「第6次府中市男女共同参画計画目標Ⅳの課題・施策(案)」をご覧ください。

(資料1の説明)

事務局からは以上でございます。

【会長】

ありがとうございました。目標Ⅳについてご意見いただきたいと思います。

女性センターから男女共同参画センターに名称変更になった記述がありますが、載せた方がよいでしょうか。「フチャール」という愛称を公募してつけた等の記述はどうでしょうか。

【委員】

意識調査の時には、まだ名称は決まっていなかったのでしょうか。

【会長】

決まっていませんでした。

【委員】

図表①－２の表題が『男女共同参画センター』の認知・利用経験」となっていますが、意識調査では、女性センターの認知度を計った結果ですね。

【会長】

調査の時は女性センターでしたので、調査時の名称に合わせた方がいいです。

【事務局】

タイトルを変更します。

【委員】

そしてカッコして、「現在は男女共同参画センター」と入れたらよいと思います。

【委員】

昨年、この施設はネーミングライツのお話があったかと思いますが、実際に申し込みはありましたか。

【事務局】

申込みが１社ありましたが、こちらで設定した金額より低かったこともあり、審査に通らず採用されませんでした。

【委員】

利用施設の認知を高めるときに、地元の法人をターゲットにプッシュしていかないとなかなか認知度は高まりません。企業には従業員もいれば家族もいます。「知らなかった」から「知っているけど利用したことがない」とだんだん認知度は高まると思います。府中市のように人口が増えているのは、魅力があるから増えているのだろうし、プッシュの仕方も一つの方策ではないかと思います。

【事務局】

当時、地元の企業にネーミングライツについてご案内しましたが、結局、応募はなく、ホームページ等をご覧になった企業から申込みがありました。

【会長】

企業に相乗りしてもらおうと、認知度が高まりますし、「知っているけど利用し

たことがない」割合が増えるだけでも違いますし、利用率にも関わってくると思
います。認知率、利用率を高めていく努力は行われているということですね。名
称変更について、記録のために追記していいと思います。

施策について他にありますでしょうか。5 ページの4 行目「男女共同参画セン
ター」について、「フチャール」は入れますか。正式名称には入れていますか。

【事務局】

正式名称としては「男女共同参画センター」で、条例上の名称です。

【会長】

現行計画では、「スクエア 2 1 ・女性センター」というのは愛称も入っている
ということですね。「女性センター」が正式名称ですね。「フチャール」を入れた
方がよいと思います。

【委員】

意識調査のときは、「スクエア 2 1 」が先にきています。「スクエア 2 1 ・女性
センター」となっているので、合わせてはどうでしょうか。

【事務局】

「フチャール」の愛称の位置というのは、男女共同参画センターの後ろで統一
しています。頒布物等は、男女共同参画センター「フチャール」というようにナ
カグロはつけず、フチャールにかぎっこをつけているケースが多いです。

【会長】

かぎっこを入れるか、ナカグロを入れるか統一した方がいいです。

【事務局】

統一させていただきます。

【委員】

4 ページの事業項目 9 3 の概要に「市政世論調査」とありますが、どのような
調査ですか。

【事務局】

広報課が毎年 7 月頃に行っている、1 , 5 0 0 人の市民の皆様を無作為抽出し
て行っている調査です。庁内に、こういった内容を聞きたいか照会がある中で行
っています。直近では、平成 2 7 年に男女共同参画についての調査をお願いしま
した。住みやすさ等の項目の中で、各課の施策等について調査をしています。

【会長】

市政世論調査は毎年行われていますが、男女共同参画に関する質問が毎年入
っているわけではありません。

【事務局】

他に、計画策定のタイミングで実施する市民意識調査や、毎年行っている職員
の意識調査も「市政世論調査等」の「等」に含まれています。

【委員】

稼働率が3割くらいということですが、そもそも利用する人たちの需要はあるが、認知度が低くてこの稼働率なのか、それともリピーターが固定化していて、新たな利用者の活動の場を増やしていくことに力を入れないといけないのか。稼働率を上げていくことが目標だと思いますが、戦略的にどのように考えていますか。

【事務局】

前提の部分では、平成31年1月から施設使用料の見直しを行ったというのがあります。もともとは男女共同参画センターの登録団体の拠点ということで、会議室や和室のみの貸出を行っていたのが、使用料手数料の見直しにともない、他の部屋も有料で借りられるようになり、使ってみようという方々が増えてきているということではございます。利用については登録団体がほとんどで、団体の高齢化にともなう団体数の減少とともに、来館者数も減ってきていたのが稼働率の数字に表れています。施設使用料の見直しによって、新たな展開がみえてくるところかと考えております。

【会長】

登録団体が減った結果、来館者数が減ったということは、固定化されて減少したという実態がみえてきます。

【事務局】

たとえば、平成26年度には129団体あったのが、平成29年度には119団体と10団体減ってきています。年間来館者数は、平成29年度から平成30年度についても366人減となっております。登録団体数も平成30年度は110団体と、9団体減っています。会員数は約100人減っています。実際活動されていた団体は、午前中に活動されていて、利用者数が年間1,000人くらい減りました。昨年度については、男性の利用者が減ったのですが、子どもの参加者を増やす施策を行ったところ、子どもの参加者数が600～700人増えたので、全体で300人くらいの減少で止まったということがありました。

【委員】

そもそも利用者は条件等、限定していますか。

【事務局】

基本的には男女共同参画の推進に資する団体というのが、男女共同参画センターの登録団体の要件にあり、さらに、5人以上集まって登録という形になります。これまでは登録団体が中心でしたが、今は有料団体という形で貸館という施設でもあります。

【会長】

子どもの参加者を増やしたり、一般の利用者への貸出等の対策はしていると

ということですね。事業項目96「男女共同参画センターの運営」のように、年次報告にも記載があります。PRと利用率アップのための様々な施策を検討していただくということだと思いますが、施策としては事業項目96に「来館者数を増やす方策をとります」など概要に入れてはどうでしょうか。あるいは事業項目92「男女共同参画についての講座等による意識啓発」に「講座の啓発をおこなうとともに、認知率のアップと来館者数のアップを図ります」と入れてもいいと思います。他にどうでしょうか。

【委員】

フォーラムの実行委員をさせていただいています。広報・啓発活動の一部分かと思いますが、フォーラムに携わるなかで、高齢化が非常に顕著にあらわれています。たとえば、運営側の実行委員の減少もありますし、登録団体の高齢化という中でボランティアを募っても集まりにくい現状が出てきています。実行委員会の中でも、このままではよくないと話が出ており、フチュールという場所があるということと、男女共同参画をもう少し身近に感じていただけないだろうか、と検討しています。フォーラムは30年の歴史があります。私自身は男女共同参画の知識がないなかで、ボランティアをきっかけに関わりました。国立女性教育会館に講演を聴きに行ったのがきっかけで、男女共同参画をもっと身近に感じてほしいとアピールしたく、毎年、フォーラムの基調講演に力を入れて取り組んでいます。高齢化にブレーキをかけ、若い世代の参加を増やすために、最近は、イクメン・イクボス等、子育て世代を取り込んでいけるような内容を選んでいきます。今年が取組が特に顕著にあらわれると思いますが、今年の基調講演は著名なゲストをお呼びする計画を立てています。高齢化は進んでいますが、もっと若い世代が地域貢献できる場所を啓発していきたいと努力している一端が、フチュールの中にあるということをご紹介させていただきました。

【会長】

ありがとうございます。フォーラムのことが計画に記載がないですね。

【委員】

事業項目92「男女共同参画についての講座等による意識啓発」に関係するでしょうか。

【会長】

フォーラムは啓発とともに市民参加とも関係します。事業項目92でフォーラムのことを触れてもらうといいです。あるいは4ページの(1)のリード文に記載があってもいいと思います。高齢化対策として、若い人達に興味を持ってもらうテーマを掲げる等の工夫をされているということですね。

【委員】

1年に1回あるフォーラムはチャンスです。フォーラムがフチュールに足を

運ぶきっかけになります。

【会長】

計画にも若い人や子ども、男性に向けての啓発や、フォーラムの活用、高齢化対策等の具体的なことを書き込んでもらいたいです。

【委員】

フォーラムですが、市の職員の方はどのくらい参加されていますか。たとえば基調講演等に、男性で育児に携わっている方はいらっしゃいますか。私も登録団体に加盟してフォーラムに毎年出ていたのですが、若い方の姿があまり見られませんでした。市の職員の方たちが本当に興味を持っていらっしゃるのか、疑問に思うところがあります。市として男性のイクメン等に力を入れるのであれば、まず身近なところで、市の職員の方の参加からアピールしてもいいのではないかと思います。

【事務局】

基調講演については、管理職が集まる課長会議が月1回あるのですが、そのタイミングでお知らせをし、所属職員への周知もお願いしています。しかし、実際に参加している職員は少ないと思います。

【委員】

そこが問題だと思います。市の職員の方から変えないと、実行委員ががんばっていても、市の人たちに説得力がないです。

【事務局】

私もこの部署に来る前に、女性センターで行われた親子で参加できるイベントに参加したときには、他部課の職員がいました。まったくゼロというわけではなく、テーマによっては参加していることをご理解いただければと思います。

【委員】

認知度が問題かと思います。課長会議でお話しされていても末端まで伝わっているのかと感じます。

【事務局】

課長会議でも、我々以外の部署がスポーツ系、文科系のイベントのお知らせをしていますので、埋没してしまっている可能性もあるかと思います。

【委員】

そのあたりのアピールからやってみただけると、人数が変わってくるかと思います。

【事務局】

基調講演は申込制をとっていますので、申し込みが少ないようであれば、庁内でも別途メールを配信することもできます。市職員が参加できるように工夫するべきところだと思います。

【委員】

昨年は、市の職員向けの啓発に呼んでいる講師と、フォーラムでの基調講演の講師が重複しました。そのため前回は市職員の方がフォーラムの基調講演に来られることはなかったのではないかと思います。前々回から、子ども・子育てや、男性の育児参加を踏まえた講演を開催していますので、重複することは出てきます。

【会長】

職員向けの啓発も単独であった方がいいとは思いますが。場合によっては市民フォーラムを兼ねて、職員の研修として毎年1回必ず参加するというような仕組みがあってもいいかと思います。

【委員】

講師の重複は、情報が行き渡っていなかったかと思います。

【委員】

講師の方と事前打合せの場所をセッティングする中で、府中に行くという話になり、それはいつかという、職員向けの研修でという経緯でした。

【事務局】

去年の経緯ですが、安藤哲也さんという著名な方をフォーラムで呼びたいということもありましたが、その前に職員向けの管理職研修を昨年から始めまして、管理職向けに安藤氏のエネルギッシュな講義を聴いてもらいたいという思いがありました。その後、フォーラムで一般の市民の方にも聴いていただきたいという経緯で、去年は管理職向け、一般職員向け、フォーラムの都合3回府中市にお呼びしました。当然、対象者に合わせて講演のテーマを変えていただきました。

【会長】

わかりました。フォーラムに職員の足が向いていないということを是正していただくべく、職員内部に参加を呼びかけて増やしていただき、場合によっては市民向けであっても研修を兼ねることはできるかもしれません。事業項目92「男女共同参画についての講座等による意識啓発」に追記してもらってもいいです。

3ページの図表③「男女が共に認め合い、いきいきと豊かに暮らせる社会を実現させるために、特に力を入れてほしいこと」を実現するために政策提言、政策立案に対応する事業項目はありますか。たとえば事業項目95「男女共同参画の推進に係る庁内推進組織の運営」に、庁内組織で政策提言、政策立案していくというような内容を書き込めませんか。

【事務局】

事業項目95についてですが、毎年度、重点的取組項目がありますので、現在

は第6次計画と職員のワーク・ライフ・バランスの2点を進めています。この2点が一段落すれば、新たな課題に重点的に取り組みます。図表③にあるようなテーマが政策化されると思います。

【会長】

事業項目95に運営とありますが、立案、提言したりしていきますか。具体的にはどのような組織でしょうか。運営だけではなく、政策を立案、実施していく見え方がほしいです。事業項目94「男女共同参画の推進に係る検討機関の運営」も運営ですね。運営だけでは事務的な仕事です。

【事務局】

運営の前に、設置がありますが、自主的に運営しており、その先に何かいい表現があればということですね。5ページのリード文の2行目に、「府中市男女共同参画推進本部を設置しており、これらの男女共同参画を進めるための組織の充実を図ります。」とありますが、この文言を含めて、事業項目94、95を事務局預かりとさせていただければと思います。改めて検討させていただきます。

【会長】

運営に加える視点がほしいです。他にいかがでしょうか。

【委員】

1ページで取り上げている現状と課題で、男女共同参画センターの来館者数と施設稼働率についてですが、施設稼働率を考えた場合、男女共同参画センターと文化センターは変わりがないのかと思いました。文化センターのような施設の稼働率を上げるのであれば、文化センターとの比較があった方がわかりやすいと思いました。男女共同参画センターを利用したことがないのでわかりませんが、似たような施設を利用しているというなら、距離的に近い人たちが利用しているだけであって、同様の施設であれば文化センターを利用しようと思う人もいるのではないのでしょうか。課題の設定ですが、他施設と比較する等しないと、なぜ課題にしたのかわかりにくいと思います。

【会長】

稼働率だけの問題ではないですが、稼働率をみると他施設と比べてどうかという話になります。近い施設を利用しているのが実態かと思います。

【事務局】

確かに、貸施設の面では文化センターと似ています。大きな違いは、文化センターは窓口機能であり、文化センター自らが何かを発信することはないです。男女共同参画センターは、男女共同参画に関する情報や講座を主体的に発信・実施しているところが文化センターとの大きな違いかと思います。女性相談などの相談業務も行っています。稼働率の面では、文化センターと数字的に比較できるかもしれませんが、男女共同参画センターにはそれ以外の機能もあります。

【委員】

その話を聞くと、なぜ課題にしたのかと思います。

【委員】

他市の男女共同参画センターと比較してはどうでしょうか。

【事務局】

他市の状況ですが、施設を所管している自治体と所管していない自治体があることや、国立市と国分寺市の場合は、貸施設は持っていないけれども相談業務を合同で設けているケースもあります。記載が難しい面があります。

【会長】

来館者数は増えた方がいいですが、この見せ方では来館者数が課題だと思われるかもしれません。センターで開催している男女共同参画講座数の推移や参加者数等、発信の場だとわかるデータを図表①の前後に追加すると説得力があります。

【事務局】

男女共同参画意識の普及・啓発を進めるための来館者数、講座の開催ですので、現状と課題の文章を修正させていただきつつ、講座の参加者数等を現状に追加できればと考えております。

【会長】

ありがとうございます。他はどうでしょうか。

【委員】

推進体制について、レクリエーションのような活動のNPO等、各市で推進体制を持っていたりします。要は、推進体制があった方が集中的にでき、それに対して市が支援する形というのが一つ考えられるかと思います。参考事例はありますか。

【会長】

NPOに委託する事例はたくさんあります。

【事務局】

他市の状況をみても、指定管理や委託管理等、若干少ないかと思います。

【委員】

今はまちの施設という感じがします。積極的に推進できる体制、団体があると展開が違って来るかと思います。詳しくはないのですが、一つの案です。

【会長】

登録団体の中で、ジェンダー問題に特化したNPOはありますか。

【事務局】

NPOではないですが、任意団体として5団体あります。コンスタントに活動されている団体は2団体くらいです。

【委員】

市民活動センタープラッツの運営体制はどうですか。

【事務局】

プラッツの運営は、NPO法人「エンツリー」という八王子のNPOと府中市の文化振興財団と一緒に運営しています。NPOがソフト面、文化振興財団がハード面という形です。平成29年7月に開館しまして、ボランティア活動センターでは、110の登録団体から約450団体に伸ばしています。

【会長】

参考にして男女共同参画にしても活性化してもらえるといいです。

【事務局】

男女共同参画センターの登録団体役員会がありまして、役員会の中でも団体間の交流をしており、高齢化や活動の伸び悩みという課題が出てきています。市民活動センターや他市の事例の情報を入れながら、活性化の話が出ているところがございます。まずは団体間でそれぞれの取組を知ったうえで、どのように連携すれば新たな活動の展開を図れるのか検討しているところです。

【会長】

事業項目96「男女共同参画センターの運営」に関わります。団体の若返り、活性化、団体の育成等、そのような視点で盛り込んでいただければと思います。他にいかがでしょうか。では残りの時間で、資料2-1、2、3を使って、目標Ⅰ～Ⅲの修正案について検討していきます。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、資料2-1、2、3をご覧ください。

(資料2-1、2、3の説明)

ちなみに、各事業項目の取組状況や実績について、本日、参考でお配りした、「府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書(平成30年度実績)」に記載しておりますので、参考にしていただければと思います。

【会長】

事業項目の検討を中心に、具体的に4ページの事業項目1から検討をお願いします。事業項目1「審議会等における男女それぞれの構成比率を35%以上に促進」と事業項目2「すべての審議会等に女性委員の登用」を1つに統合するのも案かと思いますが、どうでしょうか。女性委員がゼロの委員会をなくすと、構成比率は上がりますね。

【事務局】

参考資料「府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書(平成30年度実績)」の一番後ろに男女構成比を掲載しています。女性委員がいない機関は、平成29年度は2つ、平成30年度は3つございます。別の話になりますが、女性委員の

構成比率35%については、後期の総合計画においては40%となっています。統合するとなれば概要の文章も工夫する形になります。たとえば「市の政策・方針・決定の場において、女性の参画を推進するため、全ての審議会等において委員の男女それぞれの構成比率40%以上を目指します」となります。全ての審議会等において委員の男女それぞれの構成比率40%以上ということですので、女性委員のいない審議会はなくなることになります。実際に現在40%を超えている審議会は12個です。

【委員】

女性委員がゼロの審議会はなくならないです。今の事務局のお話では、ゼロが残っても仕方がないので、平均を上げるということでしょうか。

【事務局】

平均ではなく、全ての委員会で40%を超えれば、女性委員がゼロの審議会がなくなるという意味です。

【会長】

全ての審議会で40%を目指すとなると、理論的にゼロの審議会はなくなりますね。

【委員】

事業項目として1つでいいのではないかという案はわかりました。

【会長】

統合するのも案かと思います。女性委員ゼロの審議会が40%を超えるとは思えませんが、統合する方向で考えてみましょう。

事業項目3「公聴活動の充実」のパブリックコメントを削除した理由は何でしょうか。

【事務局】

パブリックコメントは、計画策定の時がほとんどですので、用途が限られているという理由です。また、パブリックコメントの担当部署は政策課で、市長と語る会と市政世論調査等は広報課でして、そういった部分でも違いがあるので削除しました。

【会長】

事業項目9「コミュニティ活動等への参加促進」は、担当課と調整になっています。概要に男女共同参画とは書いていませんが、担当課は男女共同参画の視点から書きやすいでしょうか。

【事務局】

取組としては、「地域の各種団体等の方々と年代を超えた交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を積極的に展開します。」ということです。平成30年度の実績が「文化センター圏域コミュニティ協議会委託事業を通して、

地域の各種団体等と年代を超えた交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を積極的に展開した。」となっています。実施回数と延べ参加者数、コミュニティ協議会役員男女比、コミュニティ文化祭実行委員会委員男女比、ちびっ子ふれあい文化祭実行委員会委員男女比ということで、実際に運営する役員等の男女比が書いてありますので、場合によっては、事業概要に「性別・年代を超えた」というように、「性別」を追加するとより明確になるかと思います。実際に担当課の評価でも「性別・年代問わず」という回答をいただいております。回答の部分につきましては、参加者と運営側の構成が入っておりますので、評価しやすい回答になっているかと思います。

【会長】

わかりました。役員は男性で、担っている実行委員は女性というところが顕著に出ています。大事な課題ですので、指標のデータになるかと思います。事業項目9の概要に「性別・年代を超えた」とジェンダーの視点を追加してもらいたいと思います。事業項目11「ボランティア活動・市民活動の支援」ですが、市民活動を支援する施設としては、ボランティアセンター以外にありますか。

【事務局】

ボランティア活動につきましては、第5次府中市男女共同参画計画の方では、府中ボランティアセンターもありましたが、他にNPOボランティア活動センターというのもございまして、そちらが今の市民活動センター「プラッツ」になっております。概要に抜けていますので、明記した方がよいと考えております。30年度の実績分で見ますと、同じく生涯学習センターも出てきておりますので、明記したほうがよいかと思います。

【会長】

事業項目11の概要に市民活動センターと生涯学習センターを追加してもらいましょう。他はどうでしょうか。生涯学習関係は、ジェンダーの視点の報告がありませんようです。毎年の報告でも「男女共同参画になじまない」や「どう書いていいかわからない」という回答も多いものですから、書きやすくなると思います。実際に生涯学習セミナーでは、男女共同参画に関連した講座はやっていますか。

【事務局】

大学連携事業等には含まれているとは思いますが。

【会長】

外語大、農工大、明大でやっている講座のジェンダー構成を書きだしてもらうだけでもだいぶ違うと思います。男女共同参画の視点からの評価がこちらもしづらいです。具体的な男女別の参加者数や、男女共同参画関連の講座名等があるだけで評価しやすくなります。

【事務局】

そのような観点でみておらず、男女別データを取っていないかもしれません。

【会長】

事業項目12から16の概要に「性別・年代問わず」と入っていると、担当部署がそのような内容を聞かれているとわかりやすいです。

【事務局】

参加者数の男女の内訳や男女共同参画関連の講座名等をどのくらいやっているか書いてもらうのも1つです。先ほどの事業項目9「コミュニティ活動への参加促進」がいい例だと思いますが、講座内容や参加者の男女比があるとよいか、概要に「ボランティア企画講座・市民企画講座等を充実します」とあるように、運営側の男女比を入れるか。視点としては、男女共同参画の視点からセミナーを開催してもらうのか、ボランティア市民が性別に関わらず能力を発揮できる観点でまとめるのか、という概要となると、担当課も伝えやすいかと思います。またこちらの方からも評価を出すにあたって、そのように記載変更してほしいと言いやすいと思っております。

【会長】

事業項目12から16ですが、1つは運営の男女構成がどのようになっているか。もう1つが、講座内容やセミナーの内容が男女共同参画の視点にふさわしいかという2つのチェックができます。2つの評価ができるような事業概要の説明があるといいと思います。

【委員】

事業項目12「生涯学習セミナーの開催」についてですが、私はこの教養講座にずっと出ていますが、男女共同参画の視点になじまないのではないかと思います。私が受けている講座のテーマは「日本文化と司馬遼太郎の世界」だとか、趣味の世界です。定員は290人を設定しており、出席者は男女半々です。平日の昼間開催、90%以上は高齢者で、若者は一人もいません。有料でかなり満員です。

【会長】

サポーターや企画運営者の男女比はあってもいいと思います。フォーラム以外の男女共同参画をPRしていく場として、生涯学習は大きな場です。

【委員】

毎年9月に行われるフェスティバルは、1万2千～3千人動員されています。発表の場所があるので、家族や地域、チームの父兄も含めて動員数が多いです。フォーラムの参考にできないかと、昨年実行委員をしました。ただ、動員数の大きさに驚きましたが、運営の中身は男性色が強く、居心地が悪かったです。フォーラムの方はもともと女性センターでしたので、女性の視点で物事が進められ

ていきますが、学習センターの運営は、女性も3、4人と少なく、男性社会だと実感しました。参加者は、あらゆる世代が参加するというのが、学習センターならではの感じました。

【会長】

社会教育における男女共同参画の視点は大事です。運営側のことや、1回でも男女共同参画に関連する内容のものがあつたか、地域社会における男女平等と同様に、セミナー運営における男性中心社会というのは大事な課題だと思います。セミナーやサポーター制度などを担う人達の男女構成比が記入しやすい事業概要に直してもらえるといいと思います。事業項目12～16は、内容的に男女共同参画のものがどのくらいあるか、運営を担う側が男女共同参画になっているかという点を盛り込んでいただけるといいと思います。

先に進めて、(3)安全・防災対策の推進はどうでしょうか。「女性の参加」とあり、評価項目にも書き込んであるので問題ないでしょうか。事業項目19「青少年の健全育成のための環境づくり」はジェンダーの視点があるといいでしょうか。

【事務局】

事業項目19「青少年の健全育成のための環境づくり」に関する内容がリード文にもない状況なので、この事業を残すべきか、逆にどういった部分を盛り込むかといったところをご議論いただければと思います。

【会長】

外すわけにもいかないと思いますが、評価しやすいような男女共同参画の視点を入れられれば入りたいと思います。事務局でご検討いただきましょう。

【事務局】

青少年対策地区委員会の男女比率を入れてはどうでしょうか。地域の安全を守るために、男女ともに活動している状況が載せられれば、(3)安全・防災対策の推進に載せていいと思います。

【会長】

それでよいと思います。次に課題2(1)就業のための支援にいきます。事業項目25「女性の就職支援講座の実施」と事業項目26「起業のための講座の実施」は分けた方がいいですか。統合するのも案だと思います。所管は同じですか。

【事務局】

起業については、コミュニティビジネスの関連が地域コミュニティ課で、創業の関連では経済観光課です。女性の就職支援は地域コミュニティ課となっております。課は分かれますが、それぞれの課に分けて聞いておりますので、統合しても問題ありません。

【会長】

事業項目 2 5 は女性のための就職支援講座なので、参加者はすべて女性で、事業項目 2 6 の起業講座の女性の受講者数を載せてほしいです。事業項目 2 5、事業項目 2 6 は統合して問題ないです。事務局にお任せします。事業項目 2 7 「労働情報の収集と提供」は男女共同参画の視点から書きやすいでしょうか。報告の方では、男女共同参画関連での報告になっていませので、概要の方で工夫できないでしょうか。概要に「女性の就業による女性活躍を推進するために」のような前文を入れて作文してもらおうと、記入しやすいです。

9 ページ (2) 職場での女性活躍推進はどうでしょうか。事業項目の名称がまだ確定していませんが、「指導的立場への登用に向けた女性のキャリア支援」、「事業所に対する女性活躍促進の積極的な働きかけ」でいいと思います。「事業所に対する女性活躍促進の積極的な働きかけ」の概要で「女性も活躍できるような職場の意識改革」ではなく、「女性が活躍できるような職場の意識改革」がいいです。

次に (3) 市職員等の男女共同参画の推進はどうでしょうか。事業項目 2 3 「職員の意識調査の実施」は先ほど目標Ⅳの推進体制のところから出てきました。統合して再掲という案もあるかと思います。

【事務局】

先ほど検討した職員の意識調査については、目標Ⅳの事業項目 9 3 「男女共同参画についての調査」の中で、「市政世論調査等、男女共同参画に関する市民意識調査を行います」とあります。この「等」の中に含まれると捉えておりますので、統合してもいいかと事務局の方で考えております。

【会長】

「等」にせず、事業項目 9 3 に「市政世論調査や、毎年実施している職員の意識調査等の中で」というように入れておいた方がいいと思います。あるいは、残して再掲という案もあります。(3) からなくなってしまうと、職員向けの調査はどこでやっているのかということになります。事業項目 2 3 を残して、先ほどの目標Ⅳのところから再掲にするか、どちらでもいいと思います。または、事業項目 2 2 「職員に対する研修会、講演会の実施」と統合する案もあります。

【委員】

意識調査で足りないところがみえてきた部分を研修や講演で実施というような形にすれば、統合していいと思います。

【会長】

事業項目 2 2 ・ 2 3 を統合して、意識調査も実施するという文言が残ればいいと思います。以降、目標Ⅰの課題 3 から、次回検討いただきたいと思います。事務局は、委員の皆様からいただいた意見を踏まえ、再度検討をお願いします。

次第 2 「その他」について事務局からお願いいたします。

【事務局】

参考にお配りした残りの資料についてご説明いたします。

（参考資料の説明）

最後に、次回の開催日時について次第の裏面をご覧ください。次回は、9月9日（月）午後2時から、場所は男女共同参画センター「フューラル」です。

また、第8、9回の男女共同参画推進協議会の日程を決めていただければと思います。以上でございます。

（日程調整）

【会長】

第8回を1月9日（木）10時、第9回を1月30日（木）10時からとします。それでは、本日の会議は閉会とします。本日はご出席ありがとうございました。